

謝辞

本稿は滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻における研究成果を学位論文としてまとめたものです。

本研究を進めるにあたり、近藤隆二郎助教授には懇切丁寧なご指導を頂きました。時にわがままで筋の通らないことを主張する私を見放すことなく、厳しくそして温かく見守って頂きました。同助教授のご指導なくして本研究は遂行できませんでした。心から御礼申し上げます。また、大学一年生の時より様々な活動に触れる機会を頂いたことに深く感謝致します。そのことによって大学生生活が実り豊かなものとなりました。同助教授に対する感謝は筆舌に尽くしがたいものです。本当にありがとうございました。

本論文を査読していただいた井手慎司助教授には、厳正なる査読の上での的確な助言、コメントを頂きました。心から御礼申し上げます。

運動会で忙しい中、調査のお願いを快く受け入れて下さった、各小中学校の教頭先生方、担任の先生方には厚く御礼申し上げます。そして、調査に協力して頂いた児童の皆さん、ありがとうございました。楽しい様子のお友達が写りこんでいる写真、アンケートのメッセージなどは研究を進める上で大きな力となりました。

(財)佐川交通社会財団には本研究の趣旨と内容にご理解頂き、助成して頂きました。心より御礼申し上げます。

研究室の大学院生の方々には大変お世話になりました。近藤紀章さんには研究の課題について共に悩んでいただき、本研究を進める上で多くのアドバイスを頂きました。また、研究が進まず気分が沈みがちな時には楽しい話で笑わせてくれました。樋口幸永さんには常識のない私に調査依頼書の書き方や敬語の表現などを教えて頂きました。村上浩継さんにはゼミの仕組みや論文の細かな留意点など研究全般の広範なるアドバイスを頂きました。皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして、一年間共に研究を進めてきたゼミ生に感謝します。栗田知明君とは研究や就職活動のことからイタズラや将来の夢物語まで様々な話で盛り上がりました。また、朝まで語り合いたいものです。広瀬賢君には「ヒロケン式ストレッチ」を教えてもらい、健康的な体に一步近づくことができました。肘がつくまで前屈するにはどれくらい掛かるのでしょうか。中嶋康晶君とはぜひとも一緒にフルマラソンを走りたいです。杉本さやかさんからは真似のできない素晴らしいデザインセンスを学びました。ギル魚醬は杉本さんのラベルでぜひとも商品化しましょう。豊田幸子さんとは東京のことや恋愛のことなど様々な話をしました。また、東京の魅力的なところをたくさん教えてください。この五人の仲間と共に研究ができたことに感謝します。本当にありがとうございました。

また、バドミントン部や滋賀 YMCA の仲間・子どもたちには、研究が苦しいときでも楽しみや安らぎをもらいました。ありがとうございました。

最後に勝手気ままな生活で家にも帰らず心配ばかり掛けていた私を支えてくれた両親と兄に感謝します。

2005 年 2 月 16 日 池田 勤